

会議等名	平成 28 年度 第 10 回 海老名市公共施設再編計画策定委員会
日 時	平成 29 年 1 月 12 日(木) 11:00~11:40
場 所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：藤田委員長、加藤（仁）副委員長、牛村委員、加藤（昌）委員、 河野委員、佐々木委員、城向委員、山本委員 内野 優 市長 事務局：財務部長 柳田 信英 財務部次長 柳田 理恵 参事（財務担当） 清水 昭 企画財政課長 伊藤 修、 企画財政課政策経営担当課長 江下 裕隆 企画財政課公共施設マネジメント準備室長 石田 恵美 企画財政課公共施設マネジメント準備室 横山 丘明 企画財政課 吉岡 大徳 傍聴者：1名
概要：	
1 開 会	<p>全ての委員に出席を頂き会議は成立しています。</p> <p>傍聴希望者が1名おられます。本日は進行の都合上、事務局から傍聴の許可を確認させていただきます。（異議なしの声。傍聴者入室。）</p>
2 答 申	<p>《海老名市公共施設再編（適正化）計画【素案】の答申》</p> <p>委員長より、市長に海老名市公共施設再編（適正化）計画素案について答申。</p> <p>（市長） あけましておめでとうございます。委員の皆様には、日ごろから公共施設再編計画の策定にご協力いただきありがとうございます。</p> <p>公共施設の再編は、将来を見据えた計画でなければならないということで検討がスタートしているが、人口が増えている海老名市では、市民の皆さんが再編検討が必要という認識に至っていないのは事実だと思う。</p> <p>しかし、県内でも箱根町では小学校の統廃合が始まっており、三浦市では耐震性のない庁舎の建替ができないことが問題になっている。本市でも庁舎外壁の落下事故を受けて補修を行っているが、他にもこのような問題が今後出てくると思われる。もちろん、危険なものはすぐに排除しなければならないが、改築するにしても、やみくもに行うのではなく市としての方向性を定めることが必要と考えている。今回頂いた答申を踏まえて再編計画を策定し、個別の具体的な計画づくりを進めたい。</p> <p>後ほど説明があるが、学校については再編計画の策定に着手している。海老名市も今後7年間は人口増加が続くものの、以降は人口減少に転じていくことが見込まれており、将来的にどのように変わっていくかを見据えた検討が必要になる。例えば川崎市では、小学校は整備するが私立への進学が多い中学校は縮小する方針を示している。学校は公共施設の中でも大きなシェアを占めているので、そのありかたについてはしっかり考えていきたい。実際、市内に19ある学校体育館の外装改修が検討されていたが、構造等も含めて</p>

うまく改修すれば市民の皆さんが使いやすい施設にすることも考えられるので、今のところ予算は止めている。これまでは、今ある建物をそのままの形で改修することに終始しており、どのような施設にしていくかという発想がなかった。コミュニティセンターもそうだが、市民の皆さんにも目に見える内装ぐらいしか変化が伝わっていないと思う。しかし図書館は、民間のアイデアで四階、五階を開放するなど大きく変わっており、そのような発想は我々公務員にはない。

そういった意味では、答申の中でもニーズ増加への対応、将来を見据えた取組という意見もいただいております、今ある建物が今のままでいいのかという議論はしなければならないと思っている。例えば、保健相談センターは改修計画をつくろうとしているが、今のセンターは13万3千人の健康づくりを支えるという考えだが、現実問題として市民全員を対象とすることは困難であり、ターゲットを絞った施設とすることを考えている。そういった視点で、今後も悔いのない公共施設の再編を進めていきたいと考えている。

今後も、委員の皆さんには様々な形でご協力をお願いすることもあると思うし、学校の再編においても検討委員会の設置を予定している。学校は地域に根差した施設であり、やり方によっては地域の拠点になり得るため、実現に向けて皆様の御意見を頂きたい。

委員の皆様には、これまで10回にわたりご議論を頂いたことに感謝を申し上げます。今後もよろしくお願ひします。

(委員長) 改めまして、明けておめでとうございます。

答申書は委員の皆さんに熱心に議論いただいた結果を取りまとめたものであるため、長くなったが付帯意見まで読み上げさせていただいた。ぜひ、答申書の内容を十分にご理解いただき、公共施設の将来に期待の持てる計画を策定していただきたい。

委員会も本日で10回目を迎え、委員の皆様には様々な立場から様々なご意見を頂いてきたが、本日、市長への答申をできたことは委員及び職員の皆様のご協力のたまものであり改めて感謝申し上げます。

公共施設再編の取組は、将来の少子高齢化や財源的な課題を考えると長期的な対応が必要であり、公共施設再編の方向性を示す計画を策定することは非常に重要と考える。公共施設におけるサービス提供を将来も継続、充実させていくためにも、市民のニーズに沿った計画的な再編・適正化に取り組める計画となることを期待して委員長のあいさつとしたい。ありがとうございました。

(市長退室)

(以降は、委員長により進行)

3 報告

≪「海老名市学校施設再整備計画」策定の基本的な考え方について≫

教育部による資料説明（次長、教育総務課長）

《質疑・意見等》

(委員) コンセプトは非常に良いと思うが、「夢」の部分が分かりにくい。資料の中では、多機能化や複合化を進めることが該当すると思うが、まだ検討が進んでいないかもしれないが、具体的にどのようなイメージなのか。

→ この部分については、教育委員さんからも多くご意見を頂いている。教育委員会では「おらが学校」として地域の方々が学校に集えるよう、図書室の地域開放や、休日・夜間の教室利用などを推進している。

もうひとつのキーワードとして、来年度から全校で実施を計画している小中一貫教育もある。

(委員) 子どものためというより、大人の都合という感じがする。

→ 40年先を見据えた学校のあり方を検討してもらう中で、学校にこんな機能があればいいというご意見を頂きたいと考えている。

(委員) 市の小中一貫教育は教育内容の連携だが、小中の校舎を一つに集約する小中一貫校のイメージを持つ市民も多いと思う。そのような方向も考えているのか。

→ 子どもたちの数が減る段階になれば、小中学校の校舎の面積も削減することが必要であり、校舎を集約して小中一貫校とすることも可能性が出てくると考えており、そこまで議論を広げて検討していきたいと考えている。

(委員) それであれば、「小中一貫教育から、さらに進んで小中一貫校も」といった文言を入れたほうが夢があると思う。

(委員) 夢に関連して、学校ごとの特色が出せるような再編を目指すべきだと思う。そういう意味で、「特色ある学校」といった言葉も入れたほうが良いと思う。

→ ハード面ではないが、ソフト面では「ひびきあう教育」として学校ごとの裁量で特色ある授業を実施するための予算を措置している。

(委員) 地域コミュニティの核づくりに際しては市民参加が重要である。資料説明に際して言及されていたが、それも文言として入れたほうが良い。

また、現在検討中のまちづくり条例も活用していただきたい。

4 その他

(今後のスケジュールについて事務局より説明)

- ・答申、庁内意見を踏まえて素案を修正した計画案を1月下旬に決定する予定。
- ・計画案のパブリックコメントを実施する。(1/26～2/8の14日間を予定。)
- ・パブリックコメント期間中に市民説明会を2回開催する。(1月29日(日)10時～、1月30日(月)18時30分～。いずれも庁舎401会議室を予定。)
- ・パブリックコメントの意見を踏まえて計画を策定し3月の庁議で決定する。その上で、議会に報告し市民に公表する。
- ・本委員会は、本日答申を頂き目的を達したため、3月末で設置条例を廃止する。

(委員) 市民説明会の開催についての告知はどのような手段で行うのか。

→ 広報えびな(1月15日号)、市ホームページに掲載するほか、コミュニティセンター等の公共施設にポスターを掲示する。

(財務部長) 委員長、副委員長、委員の皆様には、公私ともお忙しい中、2年間にわたる当委員会に参加いただきありがとうございました。事務局には至らない点や、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思うがご容赦頂きたい。

本日頂いた答申を真摯に受け止め、海老名市の公共施設の再編に希望が持てるような計画を策定していきたいと思う。

今後、パブリックコメントや市民説明会で市民の皆さんにもご意見を頂きながら計画を策定していきますが、委員の皆様は任期は3月末までありますので、御意見があればお知らせいただきたいと思います。

本当にこれまでの2年間ありがとうございました。

(委員長) 任期は3月末までであるが、今回が最後の委員会となるため委員長として挨拶申し上げます。

これまで10回の委員会が開催されたが、委員の皆様のご協力により無事に議事進行ができたことを感謝申し上げます。おかげさまで、本日市長に答申書をお渡しすることができた。答申書には委員の皆様の多くの意見が反映され、これからの海老名市の公共施設再編の取組が、市民の皆様から見ても期待の持てるものになると思います。事務局の皆様には、答申書の内容を御理解いただき、将来に期待が持てる計画を策定していただくことを期待します。

委員長としては経験不足、力不足で至らないこともあったかと思いますが、委員の皆様、事務局の皆様にご協力いただくことで職責を果たすことができた。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

以上で、委員会を終了する。

以上